

1. 研究課題名

「医療的ケア児の親がこどもとの関わりの中で実感することと看護師のありよう」

2. 研究目的と意義

医療的ケア児の親がこどもとの関わりの中で実感すること、また、そこに向き合う看護師のありようを、相互主体性の視点から明らかにします。

相互主体性とは、人と人が関わり合う時、お互いに相手を主体として受けとめ合うことを指します。

これによって、親子が互いに主体として認め合い、看護師にとっても親子が主体として生きることを尊重する看護の手がかりが得られるという点で意義があると考えております。

3. 研究方法

1) 研究デザイン

半構造化面接による質的記述的研究を計画しています。

2) 研究対象

NICU等の入院歴をもち、退院後3か月以上を経過している就学前の医療的ケア児の母親、父親のいずれか、またはお二人が対象になります。

対象者様の心身のご負担が大きいと思われる、以下のいずれかに該当する方はご参加いただけません。

- お子様が1か月以内に医療機関に入院された方（レスパイト目的の入院以外）
- 精神面での治療または支援を継続中である方
- 日本語による日常会話が困難な方

3) データ収集期間

研究倫理委員会承認後～2027年3月15日

4) 調査方法

研究にご協力いただける場合は、研究協力承諾書にご署名いただき、同封の返信用封筒にてご投函をお願いいたします。

後日、調査依頼書、連絡先回答用紙、切手付返信用封筒を研究者よりお届けいたしますので、研究対象となる方をお選びいただき、調査依頼書、連絡先回答用紙、切手付き返信用封筒の配布をお願いいたします。その際に、強制とにならないようにご配慮いただきますようお願いいたします。

後日、連絡先回答用紙で返信のあった対象者様に研究者から連絡し、インタビュー調査を実施します。

調査の日時・方法（対面またはオンライン、対面の場合の場所等）は対象者様の希望に沿います。

対面調査に伴う交通費は、実費をお支払いします。

5) 研究内容

インタビューでは、妊娠中から現在に至るまでのこどもの関わりで実感したことを中心にうかがいます。また、そこに向き合う看護師の言動や行動についてもお話しいただき、医療的ケア児と親が主体となる看護について詳細に分析します。

また、インタビューに先立ち質問紙により、医療的ケア児の月年齢、現在の医療的ケアの内容、利用しているサービス、家族構成、親の年齢や職業等について回答いただき、分析に活用させていただきます。

インタビューや質問紙で回答したくない内容はおこたえいただく必要がないことを研究対象者様に予めお伝えします。

4. 倫理的配慮

本研究は、札幌市立大学倫理委員会承認を得て行っています。（承認番号：2536-1）

本研究への参加は対象者様の自由意思によってご判断いただきます。同意いただけなくても不利益を被ることは一切ありません。同意いただいた後でも辞退いただくことは可能ですが、研究成果が論文として投稿された後は撤回できません。

プライバシー保護の観点から、研究参加に同意いただいた方のお名前をご紹介施設・団体にご報告することはできません。

インタビュー中に過去の体験を思い出して悲しさや辛さを感じてしまう場合は、一旦インタビューを中断して気持ちが落ち着くのを待ち、再開するにあたっては再度同意の確認を行います。

研究で得られたデータは研究目的以外には使用しません。また、研究代表者の研究室の鍵のかかる棚で保管して情報漏洩を防ぎます。

研究成果は学会や研修会、学術雑誌において全体として報告し、個人が特定されることはありません。

5. 研究実施者について：

- 研究代表者：札幌市立大学看護学部 教授 奈良間 美保
- 共同研究者：京都橘大学看護学部看護学科 教授 堀 妙子
- 京都橘大学客員研究員 花井 文

6. 説明者・研究内容に関する問合せ先： 札幌市立大学看護学部 教授 奈良間 美保

連絡先： 住所 〒060-001 札幌市中央区北 11 条西 13 丁目

電話番号： 011-726-2529

メールアドレス：m.narama@scu.ac.jp